

③福音再考シリーズ - ヨハネの福音書

イントロダクション | 悲しみから喜びへ

私たちは思わぬ苦しみに遭うことがあり、人生の中では悲しみを避けることができません。自分の力でどうにもならないことに嘆く夜があります。神は聖書を通して悲しみの中でどんな喜びや希望があると言っているのでしょうか？悲しみの時にどのように対処できるのでしょうか。イエスが十字架につけられる前の夜に弟子たちに語った言葉から、第1に、悲しみが起こるのは避けることができませんが、意義深くその悲しみをイエスにあって取り扱うことができることを見ていきましょう。第2に、悲しみはイエスの救いのみわざを告げる福音によって、リアルな喜びへと変えられるのです。

聖書 | ヨハネ福音書 16章 20-33節

16:20 まことに、まことに、あなたがたに告げます。あなたがたは泣き、嘆き悲しむが、世は喜ぶのです。あなたがたは悲しむが、しかし、あなたがたの悲しみは喜びに変わります。21 女が子を産むときには、その時が来たので苦しみます。しかし、子を産んでしまうと、ひとりの人が世に生まれた喜びのために、もはやその激しい苦痛を忘れてしまいます。22 あなたがたにも、今は悲しみがあるが、わたしはもう一度あなたがたに会います。そうすれば、あなたがたの心は喜びに満たされます。そして、その喜びをあなたがたから奪い去る者はありません。23 その日には、あなたがたはもはや、わたしに何も尋ねません。まことに、まことに、あなたがたに告げます。あなたがたが父に求めることは何でも、父は、わたしの名によってそれをあなたがたにお与えになります。24 あなたがたは今まで、何もわたしの名によって求めたことはありません。求めなさい。そうすれば受けるのです。それはあなたがたの喜びが満ち満ちたものとなるためです。25 これらのことを、わたしはあなたがたにたとえて話しました。もはやたとえでは話さないで、父についてははっきりと告げる時が来ます。26 その日には、あなたがたはわたしの名によって求めるのです。わたしはあなたがたに代わって父に願ってあげようとは言いません。27 それはあなたがたがわたしを愛し、また、わたしを神から出て来た者と信じたので、父ご自身があなたがたを愛しておられるからです。28 わたしは父から出て、世に来ました。もう一度、わたしは世を去って父のみもとに行きます。」29 弟子たちは言った。「ああ、今あなたははっきりとお話しになって、何一つたとえ話はなさいません。30 いま私たちは、あなたがいっさいのことをご存じで、だれもあなたにお尋ねする必要がないことがわかりました。これで、私たちはあなたが神から来られたことを信じます。」31 イエスは彼らに答えられた。「あなたがたは今、信じているのですか。32 見なさい。あなたがたが散らされて、それぞれ自分の家に帰り、わたしをひとり残す時が来ます。いや、すでに来ています。しかし、わたしはひとりではありません。父がわたしといっしょにおられるからです。33 わたしがこれらのことをあなたがたに話したのは、あなたがたがわたしにあって平安を持つためです。あなたがたは、世にあっては患難があります。しかし、勇敢でありなさい。わたしはすでに世に勝ったのです。」

考えましょう |

- 1: (20節) イエスは悲しみを避けることのできない現実を弟子たちに語っていますが、それはなぜですか？悲しみを認めることは、悲しみを否定したり、ないものであるかのように扱うことと比べて、私たちの人生においてどのように意義を持っていると思いますか？(参考 すばらしい悲しみ)
- 2: (21節) イエスは出産の苦しみと喜びについて語っています。ここから悲しみや苦しみを経験する中でも、どんな希望がありますか？
- 3: イエスの福音によれば、苦しみでさえも私たちの人生に喜びをもたらすものになります。あなたが経験したことがあれば分かち合いましょう。(参考 ローマ 5:3-5)
- 4: (22-23節) イエスは悲しみの中でも喜びがあることとともに、悲しみの後に喜びがもたらされる希望を強調しています。どんな根拠によって喜びを強調しているのでしょうか？
- 5: (31-33節) イエスの十字架の死と復活を告げる福音を受け入れると、悲しみや苦しみをどのように受け止めることができますか？もし福音を受け入れないなら、どんな反応を示すと思いますか？
- 6: (23-27節) 苦しみや悲しみの中で、私たちはどのようにして喜びを勝ち取ることができるのでしょうか？(参考 病者の祈り)

読みましょう |

グレンジャー・E・ウェストバーグ Granger E. Westberg 「すばらしい悲しみ」 Good Grief より
悲しみを経験し克服していく 10 の段階。①ショック状態に陥る ②感情を表現する ③憂うつになり孤独を感じる
④悲しみが身体的な症状として現れる ⑤パニックに陥る ⑥喪失に罪責感をいだく ⑦怒りと恨みでいっぱいになる
⑧元の生活に戻ることを拒否する ⑨徐々に希望が湧いてくる ⑩現実を受入れられるようになる

ローマ書 5 章 3-5 節

5:3 そればかりではなく、患難さえも喜んでいきます。それは、患難が忍耐を生み出し、4 忍耐が練られた品性を生み出し、練られた品性が希望を生み出すと知っているからです。5 この希望は失望に終わることがありません。なぜなら、私たちに与えられた聖霊によって、神の愛が私たちの心に注がれているからです。

病者の祈り ～ニューヨーク・リハビリテーション研究所の壁に書かれた一患者の詩～

大事を成そうとして 力を与えてほしいと神に求めたのに 慎み深く従順であるようにと 弱さを授かった

より偉大なことができるように 健康を求めたのに よりよきことができるようにと 病弱を与えられた

幸せになろうとして 富を求めたのに 賢明であるようにと 貧困を授かった

世の人々の賞賛を得ようとして 権力を求めたのに 神の前にひざまずくようにと 弱さを授かった

人生を享受しようとして あらゆるものを求めたのに あらゆるものを喜べるようにと 生命を授かった

求めたものは一つとして与えられなかったが 願いはすべて聞き届けられた

神の意にそわぬ者であるにもかかわらず 心の中の言い表せない祈りは すべてかなえられた

私はあらゆる人々の中で 最も豊かに祝福されたのだ

I asked God (A CREED FOR THOSE WHO HAVE SUFFERED)

I asked God for strength, that I might achieve I was made weak, that I might learn humbly to obey...

I asked for health, that I might do greater things I was given infirmity, that I might do better things...

I asked for riches, that I might be happy I was given poverty, that I might be wise...

I asked for power, that I might have the praise of men

I was given weakness, that I might feel the need of God...

I asked for all things, that I might enjoy life I was given life, that I might enjoy all things...

I got nothing that I asked for -- but everything I had hoped for

Almost despite myself, my unspoken prayers were answered. I am among all men, most richly blessed!

祈りましょう |

- ・父なる神は、イエスによって私たちを愛して、悲しみや苦しみに遭わせても、守り助けてくださいます。それだけではなく、救いと勝利を与えてくださるので、感謝しながら神をほめたたえましょう。十字架の苦しみと悲しみを経てよみがえられたイエスの御名を賛美しましょう。
- ・イエスの復活の福音を信じなかったり、忘れてしまったりすると、怒りや自己嫌悪に捕らわれてしまいやすいものです。あなたが、苦しみや悲しむべき出来事によって、怒りや深い自己嫌悪に陥っているなら、なぜそうなのか思いめぐらし、復活の恵みのゆえに悔い改めましょう。

今週～来週のイベント

コミグル・リーダー会 (2)、ランチタイムミーティング (4 霞が関、5 大手町)、お弁当プロジェクト (7)

礼拝 Worship & Fellowship (8@日本橋浜町 F タワープラザ 3 階)、ディボーションセミナー② (8)、ランチタイムミーティング (11 丸の内、12 大手町)

礼拝 Worship & Fellowship (15@日本橋浜町 F タワープラザ 3 階)、ディボーションセミナー③ (15)、タップダンス&オルガン (15)